

発表会 ありがとうございました。今年度は、役員さんと共に、昨年の反省を踏まえ、学年で登園時間をずらし、学年ごとにまとめて観覧ができる形を試みました。



当日、保護者の方の入れ替えなどが、とてもスムーズで、子どもたちにとっては、負担なくプログラムを進めることができました。

年少さんの保護者におかれましては、はじめての発表会で、どのように会場に入室するのか？客席はどのようにになっているか？など、見通しが持てず、ご不便をおかけしたところもあったようで、申し訳ございませんでした。

提出していただきましたアンケートの中に、会場内の保護者のみなさまのマナーがとてもよくて、温かな気持ちで、観覧することができたという感想がありました。このような空気の中だったからこそ、子どもに送られた拍手がより温かく感じられたのですね。みなさまの、子どもたちを盛り立ててくださるお気持ちが、ステージに立っている子どもたちに届き、とてもうれしかったはずです。ホール全体が一体感に包まれたように感じました。

年少・年中・年長分けての発表会も、混雑にならず観やすかったですと言う意見もありました。また、去年のように全学年を観るスタイルの方が、こんなふうに育っていくのだ…と三年間の成長が分かっていい、というご意見を寄せて下さった方もいました。よりよい発表会にしていくためのご意見、来年度の参考にさせていただきます。本当にありがとうございました。

＜年長さん プログラム最後の発表 うた の直前の姿です ＞



とても凛々しく
見えますね

発表会アンケートのご協力ありがとうございました。
いただいたコメントを、抜粋してご紹介します。

年少組

とにかく、とってもかわいかったです。ママ、パパを見つけて、とても嬉しそうに手を振ってくれるところも、一生懸命歌っているところも、とってもかわいかったです。



※ステージから30cmのところにいるお客さん…子どもたちは、手を振ることに夢中になりましたり、涙が出たり…年少ならではの姿。

あたたかく見守ってください、ありがとうございました。



恥ずかしそうに発表するのかな?と思っていましたが、前を見て堂々と大きな声で歌う姿を見て、こんなに成長したのだなと感動しました。今、思い出しても目がウルウルしてきます。



舞台に立って、大勢の大人の前に出ても、ニコニコ笑顔だったのが、とても印象に残りました。入園した頃は、母と離れるのに涙がでていたのに、お友だちと楽しそうに歌ったり、演じたりしている姿を見て、成長を感じることができました。



※はじめての発表会。子どもたちにとって、発表会の練習をしているという感覚ではなく、普段、お部屋で楽しんでいる、大好きなごっこ遊びを、お家の人に見てくれる特別な日と思っていて、当日を、とても楽しみにしていたようです。

今回は全クラスの演目を生で見ることができて、年少さん、年中さん、年長さんと段階を踏んだ発表会になっていることを強く感じました。子どもたちが、その年齢に相応しい舞台を自発的にしているからこそ、やらされている感じがなく、ハプニングも味になる、比治山幼稚園らしい発表会だと思いました。これからも、この発表会の在り方が変わらないでほしいと思いました。

幕が開いた瞬間は、緊張しているように見えましたが、歌が始まると、顔が赤くなるほど力いっぱい大きな声を出して、一生懸命歌っていました。堂々と歌っている姿を見ると成長を感じましたし、感動して胸がいっぱいになりました。



発表会は自分の子どもはもちろんですが、一緒に入園し、日々見てきたお友だちも、とても成長しているなと感じ、嬉しかったです。また、年中さん年長さんの姿を見て、二年三年経つと、こんなにも立派になるんだな～、子どもたちって日々いろいろなことを吸収しているんだな～と感じました。



「お歌のとき、恥ずかしくなるかも知れない～」と急に緊張した様子だったので、「大丈夫、大丈夫、大きな声で楽しくやつたらいいよ」と話しました。当日はステージから私たちの顔を見つけるとニコっと。とても堂々と大きな声、素敵な笑顔で振り付けも完璧に歌っている姿を見る事ができました。当日までは、どうかな?と心配していましたが、気が付けば、こちらも笑顔になっていました。忍者の発表のときには緊張もほぐれ、というよりは、はっちゃけて(笑)、少々おふざけも入っていましたが、やっている本人も、見ている私たちも楽しい素敵なステージでした。

※発表会が終わって数日たった現在でも、「先生、今日はいつホールにいって、こぶたごっこするん?」「早くホールでやろうよ」「先生、ホール行くの忘れない?」など言っていて、自分たちの「劇ごっこ」を、まだまだステージの上でやりたいようです。

年中組

これから、発表会を始めます！

2月を過ぎてもなかなか演目を教えてくれず、「内緒！」と言われ続けていました。「ゴリラ」「オセロ」「マット」「けん玉」など、ヒントは教えてくれていましたが、余計に謎は深まるばかり(笑)当日を楽しみにしていました。



「大きな声で頑張るね♪」と言って登園していったものの、幕が開くと緊張した表情になっていて…そんな中でも頑張る姿にキュンキュンしながら感動をもらいました。最後までやりきった！という喜びと、自信にあふれた表情は忘れられません。

詳しい内容は全く教えてもらえませんでした。(中略)本人は「…から緊張した様子で…」「発表会行きたくない」「踊りたくない」「恥ずかしい」「見に来てほしくない」とネガティブな様子…。『見に来ていけど手をふらないで』『こっち見ないで』『ニコニコしないで』『拍手しないで』と、鑑賞時のマナーを約束させられました(笑)…当日…手を振らないなんて、ニコニコしないなんて、見ないでなんて…絶対無理！だって、めっちゃかわいいんですもん♡もう、目が離せなかったです。緊張しているのも、恥ずかしがっているのも、舞台から伝わってきたけど、時々見せる笑顔がかわいくて、思わず両手で手を振ってしまいました。家に帰ってからなんて言われたってかまわない！目の前のかわいい我が子を堪能させていただきました。

※昨年とは違う、緊張感をもって当日を迎えた子も多いようですね。「後ろに座ってね！」というリクエストもあったとか…(笑)複雑に揺れ動く子どもたちの心…そこに寄り添う保護者の方の思い…アンケートから各家庭での姿も思い浮かび、温かく支えていただいたことに、改めて感謝です。



いろんな種類のドキドキ・ワクワクが心の中でぐるぐる回っているんだろうな~と、思うと、去年より成長しているんだなあと嬉しく感じました。モジモジしつつも、一生懸命発表している姿を見ることができ、幸せでした。



※舞台袖の姿は、いつもの子どもたち♡心落ち着着けて…いざ！ステージへ！(笑)

(迎えた後)褒めてもらった恥ずかしさや、やり終えてホッとしたのか、ずっと抱っこでした。抱っこもずいぶん重いのですが、去年のことを思うと、心も身体も成長したなあ～としみじみ…。

なぜか、まだ家で練習しています(笑)

みんなとっても一生懸命に頑張っている姿を見て、胸がいっぱいになりました。家では内緒にしておきながら、しっかりとセリフや歌も覚え、友だちと一緒に勇気を出して共に頑張る姿…思い出しただけで鼻がツーン…目頭も熱くなります。

本当にあっという間に大きく、たくましくなる子どもたち。ボヤっとしていると、今だけの可愛らしさ、言葉、表情、仕草…見すごしてしまいそうですよね。たくさん褒めて、たくさん認めて、愛していることを伝えていきたいです。



お迎えの時、教室のカーテンが開いて、先生が「お迎え、どうぞ～」と言うと、園庭にいた保護者のみんなが拍手で子どもたちを迎えていたのに感動しました。



※演技後、「拍手がすごかった…」「はあ～ドキドキした～」「○○くんのお母さんと、僕のお母さん近くだったね～」など…色々な声が聞かれました。会場の温かな手拍子・拍手にパワーをもらったのは、子どもたちだけではありませんよ♡

先輩への憧れも、さらに大きくなっている子も多いようですね。来年は…！ドキドキ・ワクワク♡

年長組



年長さんでみんなのリーダーとして気合いが入っていました。リハーサルでは、「今日は100点!」と喜ぶ日もあれば、「心が一つにまとまらなかった…」と落ち込んで帰ってくる日もあり、本当に一生懸命練習していたと感じられる会話が多かったです。

本番が近づくと、今日は50%、3日前には95%、前日には99%とカウントダウン（アップ?）をしていたので、「それは何?」と聞くと、“成功する確率”と教えてくれました。本番は、1000%の勇気で頑張る、お客さんを喜ばすように頑張る！と力強く言う我が家子。観客のことも考えられるようになったことに驚きました。



自分が使った小道具などを、うしろや脇に片づけてから、次の演技にうつるなど、忘れずにきちんと役割を努めている姿はさすが年長さんだなあと感心しました。たのもしく成長していく、日頃からもっといろいろなことをまかせてみようと思いました。



歌は、みんなの顔を見ながら聞いていると、涙がこみ上げてきました。この仲間と一緒に成長してくれたこと、できたことが本当に幸せだと思いました。



前日くらいに「大きなハンカチ、持ってきてね」と。「何に使うの?」と聞くと、「感動して涙が出るでしょ!!」(笑)。その通りになりました(笑)。終わってから「すごく頑張ったね、感動したよ」と伝えると、誇らしい顔でニヤニヤしていました(笑)。





ステージに立った直後、私たちをキヨロキヨロと探している様子が見られました。その後、目が合い笑顔になったのですが、家に帰ってから「(お母さんを) 見つけた時“うれしかった”」と。カメラ越しではなく、直接目を合わせて自分の目で見ることが大事だなと、改めて思いました。



※年長組最後の発表会。

保護者の方々は、『目の前の子どもの姿』と『三年間の育ち』とを重ね合わせて、鑑賞された方が多かったです。子どもたち一人ひとり、集団の中でたくさんのこと学び、仲が深まっていきました。保護者の方々が、日頃の子ども同士のやりとり、過程を、思い浮かべてくださったことがとてもよく伝わってきました。そして、我が子だけでなく、他の子やクラス全体・他クラスの子どもにまで、とても温かいまなざしを注ぎ、大きな成長を実感してくださいました。

そんなあたたかい保護者の方にいつも見守られているからこそ、子どもたちは、このように自己発揮することができたのですね。本当にありがとうございました。

友だちと呼吸を合わせてセリフを言ったり、動いたり…楽しそうに演じている姿にこちらも楽しくなりました。年少・年中よりも、役に責任感を持って、ちゃんとやり遂げよう！ 恥ずかしいけど頑張ろう！とする姿に成長を感じました。「かぐやひめ」「おむすびころりん」を見させていただき、年少さんから知っている子どもたち！大きくなったな～と、全員の保護者になった気持ちになり嬉しくなりました。



「歌の時にママが泣いているの、見えたよ」と、なんだかうれしそうでした。「かっこよすぎて涙出ちゃったんだよ！」と言うと、照れくさそうに笑っていました。

「まったく緊張しなかったよ～楽しかったよ」と3年目の余裕ぶりはおもしろかったです。夫は泣きそうになっていたことを伝えたら、とても喜んでいました。「卒園式も楽しみにしててよ」と急に発言もお兄さんになっていました。